

デフリンピック日本招致に関わる特別決議

日本のデフスポーツの大会開催の期待は年々大きくなっています。2020年に東京オリンピック・パラリンピックが開催されることになり、日本でオリンピック、パラリンピックは夏冬合わせて4回開催されることとなります。その一方で、デフリンピック日本開催は過去に一度もありません。ろう選手やデフスポーツ団体、そして私たち全日本ろうあ連盟の会員にとってもデフリンピック開催は悲願となっています。2017年6月には党派を超えた議員の支援により、「障がい者スポーツ・パラリンピック推進議員連盟デフリンピック支援ワーキングチーム」が発足しました。障害者スポーツ、そしてデフスポーツに国民的な関心と支援が寄せられている今、デフリンピックを日本で開催できる千載一遇のチャンスです。

国や開催地域との交渉、運営資金の造成などいろいろな困難があると思います。しかし、私たちが全国の聞こえる人たちと連帯し、2025年第25回夏季デフリンピックの日本招致を目指すことは大きな意義があります。

日本招致に私たちが関わることで、国内のろう当事者団体・協力関係団体の大きなネットワークが構築できます。聞こえない・聞こえにくい人たちの社会参加、文化やスポーツ活動、そして障害のある人もない人も、様々な人がともに生きる社会づくりへ大きな影響を与えることが期待され、手話言語や電話リレーサービスを含む情報・コミュニケーションの保障に関わる法整備など、大きな社会変革を生み出す機会となります。そして、デフスポーツ環境の整備をはじめ障害者スポーツの発展に大きく貢献できます。

聞こえない・聞こえにくい子どもたちや未来の選手たちが、デフリンピックの空気を国民の皆さまとともに眼と肌で直接感じ、世界一をめざして努力するろう選手の姿を間近に見ることは、可能性に挑戦する勇気となります。日本におけるスポーツ全体の発展につながることを確信します。

いよいよ、デフリンピックを日本で開催する 때가来たのです。私たちは、思いをひとつにし、日本に大きな社会変革をもたらすために、国民の皆さまとともに2025年夏季デフリンピックの日本招致を全力で目指すことを誓います。

以上、決議します。

2018年6月10日